

令和3年度「SNSトラブル防止動画コンテスト」受賞作品一覧

動画部門

最優秀賞等受賞作品（3作品）

最優秀賞		優秀賞		準優秀賞	
タイトル	今のことは、それでいい？	タイトル	その投稿、残して大丈夫？	タイトル	その一言、小さくない
作者	チェ ウンソ	作者	池村 尚哉/佐藤 確太郎	作者	北嶋 一樹
学校名等	東京モード学園	学校名等	日本工学院八王子専門学校 放送芸術科	学校名等	
作品概要	SNS上では人を悲しめる言葉ではなく、人を元気にしたり勇気付ける言葉を使うことが大切であると表現した作品（15秒）	作品概要	ストーカー被害を題材にして個人情報に関するリテラシー向上をテーマにした作品（30秒）	作品概要	SNS上でのコメント発信は今一度よく考えようという講師中傷をテーマにした作品（30秒）
芳賀審査員長コメント	ポジティブな表現で心が温かくなります。応募作品の中であって輝いていた素晴らしい作品。	芳賀審査員長コメント	構成も映像自体も良く作られた作品でした。インパクトがあり印象に残り、完成度高いです。	芳賀審査員長コメント	伝えたいことが分かりやすく表現されており、CGにも迫力があって力作ですね。

受賞作品（4作品）

クリエイティブ賞（芳賀審査委員長選出）		のがちゃん賞（のがちゃん審査員選出）	
タイトル	これもまた	タイトル	何気ない一言で
作者	多田 愛未	作者	久野 美伶
学校名等	日本工学院専門学校	学校名等	北区立飛鳥中学校
作品概要	時にはスマホを一旦置いて外の景色を見ることなども大切というデジタルデトックスを表現した作品（15秒）	作品概要	スマホ上で何気なく使う「ヤバイ」という言葉が思わぬ勘違いを生んでしまうことを描いた作品（15秒）
芳賀審査員長コメント	スマホの使い方をよくよく考えた結果、こういう選択肢もある。応募作品の中で際立った作品です。素敵です。	のがちゃんコメント	リアルなら伝わる温度感や細かいニュアンスもテキストだと勘違いを招いてしまうことがある。身近な会話が共感しやすく良かったです。相手の受け取り方を意識したメッセージの重要性が伝わりました。
入選		入選	
タイトル	SNSについて	タイトル	見ろよ、画面外。
作者	石川 陽菜	作者	實羽 智咲子
学校名等	大田区立貝塚中学校	学校名等	日本工学院八王子専門学校 放送芸術科
作品概要	スマホ上での会話は一人の人間として話をしているのと同じであり、優しい言葉をかけていこうと表現した作品（30秒）	作品概要	スマホの画面ばかりに気を取られ、現実の危機をそっちのけにしたスマホ依存をテーマにした作品（30秒）
のがちゃんコメント	悪意ある言葉に傷つけられたときの優しい声かけは、本当に救われます。誰もができるアクションを、人形を「倒す・起こす」というシンプルなアイデアで表現できています。	のがちゃんコメント	友達と一緒にいるのにスマホばかりに気を取られているのは寂しいですね。画面外に目を向けよう！と注意を促す動画ながらにコミカルな表現でクスリと笑える楽しい作品でした。

静止画部門

受賞作品（3作品）

優秀賞		審査員特別賞（五月女審査員選出）		入選	
タイトル	善意の雲に隠された好意の光	タイトル	狙われているヨ！その情報	タイトル	抜け出せない課金
作者	小穴 晃生	作者	稲村 瑠華	作者	遠藤 愛子
学校名等	江戸川大学	学校名等	晃華学園中学校	学校名等	晃華学園中学校
作品概要	多くの好意ある言葉があっても一つの悪意ある言葉でその好意が隠されてしまうことを表現した作品	作品概要	画面の向こう側では自分の情報を狙って悪用しようとしている人がいることを注意喚起した作品	作品概要	課金に苦しんでしまわないように自制を問ひかけ、課金の危険性を表現した作品
五月女審査員コメント	冷たい言葉がもたらす影響、心情などネガティブな要素だけではなく、同時にSNSにはポジティブな要素も沢山ある事が一枚の絵の中に上手に表現されていて、とても素晴らしい作品でした。	五月女審査員コメント	個人情報の取扱いについて可愛いイラストでユニークに表現されています。ワクワクした気持ちで絵を描いたのかな？と制作時の気持ちが伝わり、致ある作品の中でも自然と目に留まる力のある作品でした。	五月女審査員コメント	課金しちゃう時の心情が凄くリアルに感じました。課金という実は身近にある問題だけど見逃しがちなテーマにフォーカスを当て、他の人には無い視点を持っている点がとても良かったです。